

守れ！イチモンジタナゴプロジェクト ニュースレター

2019.5

今回のメインテーマは『白川で生物調査をしよう』です！

まずは前回、立ち上げたタライ水槽にいるイチモンジタナゴを各班で観察。タナゴたちは水草や石のかげに隠れていて、オスが産卵用の二枚貝（ドブガイ）を見張って縄張りを守る様子などは見られませんでした。このあと開口器という二枚貝を開ける器具を使って、中を覗いてみましたが、タナゴの卵はありませんでした。



動物園のそばを流れる白川で、網やバケツ持って生物調査をスタート。石のかげや砂の中から魚や貝、水生昆虫を次々と見つけました！

どんな生き物が見つかったかというと…

ヤリタナゴ	19匹
ヨシノボリ	2匹
テナガエビ	6匹
ヤゴ	4匹
二枚貝	16個



←ヤリタナゴ



←ネジレモは琵琶湖水系の固有種です。

※ドブガイ、タテボシガイ、マツカサガイなど
そのほかにカワニナ、ナベブタムシ、ネジレモなど
たくさんの生き物が見つかりました。

捕まえたヤリタナゴやヨシノボリ、二枚貝は、このプロジェクトの目的の一つである、噴水池の整備のため噴水池に放し、カワニナは京都の森の小川に放しました。

今回見つけた生き物が噴水池で繁殖して、将来イチモンジタナゴも暮らせる豊かな環境になるといいですね。

